



松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2022年12月 1日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校
校長 浅井宣光

民（たみ）は限りなく続く。先立つ代（よ）にも、また後に来る代（よ）にも（コヘレトの言葉4：16）

松蔭ゆかりの“Duke of Gloucester（グロスター公爵）”

師走に入り、松蔭では期末考査に球技大会、クリスマス礼拝と慌ただしく学期末を迎えます。学校は「満130歳」の最後の1ヶ月、あらためて建学以来の校史を振り返っています。「たより」本号では、松蔭ゆかりの人物として、英国王室の一人の“Duke（公爵）”を紹介します。9月の創立記念式典でお配りした記念誌「A GRAIN OF MUSTARD SEED 一粒のからし種」にも登場しています。

コロナ前の2019年秋、PTA文化委員会が企画した日帰り親睦バス旅行で奈良を訪問した際、昼食会場となったのは奈良公園の南にある「奈良ホテル」でした。1909年（明治42年）の創業以来、「関西の迎賓館」とも称されてきたこのホテルの本館はいかにも重厚かつ秀麗な外観を構え、見る者を圧倒します。設計は建築家の辰野金吾。日本史の教科書にも載るヨーロッパ風日本建築の泰斗（たいと）です。館内は「現役」の宿泊室、レストランとして使用されており、伝統が生み出す格調高い空気が漂っていました。美術品や工芸品とともに、ロビーの一角には物理学者アインシュタインが弾いたというアップライトピアノがありました。

廊下に掲示されたホテルの歴史・沿革には、これまでに滞在した国内外の著名人、国賓らの名前が記されています。ヘレンケラー、チャップリン、満州国皇帝の溥儀（ふぎ。プーイー）、中国の鄧小平主席、女優のオードリー・ヘプバーンらに並んで「1929（昭和4）年 グロスター公（イギリス）」の文字が目にとまりました。

英国のエリザベス女王が逝去され、国葬当日にいたる数日間の映像がテレビ中継されていました。英国王室の歴史と伝統、そして国民と王室の間に醸成されてきた精神的な結びつきが深く印象付けられました。女王の叔父にあたる人物がこの「グロスター公爵」です。この称号は国王の子息などに授けられ、イングランド地方南西部のグロスターシャー州の州都グロスターの地名にちなんでいます。西暦1300年代の初代グロスター公爵以降、8名の王子がこの爵位に就きました。70年前の1952年に王位を継いだエリザベス女王ですが、彼女の父国王の長弟ヘンリー王子が史上7人目となる“Duke of Gloucester”の称号を授けられました（現在の第8代グロスター公爵とは別人）。ちょうど松蔭では、兵庫県庁の北西にあった校地が生徒数の割に狭かったため、現校地の青谷へと移転する準備をすすめていた1928（昭和3）年のことでした。

翌1929年、公爵は国王の名代として訪日しました。その足跡をたどると、4月半ばにロンドンを発ち、海路で英国統治下のシンガポール、香港に立ち寄った後、5月2日、横浜港に上陸しました。日本滞在期間は約3週間。当時の昭和天皇に謁見したほか、靖国神社や歴代の天皇陵にも参拝、歌舞伎を鑑賞したり聖公会の聖堂を訪問したりしました。また、千葉県習志野の陸軍基地では騎兵隊を観閲しています。日光や中禅寺湖の観光の後、陸路で箱根を越え、富士山を見ながら西下して関西各地を遊覧しました。琵琶湖や比叡山、京都では市内各地を訪ね、郊外の保津川渓谷を訪ねた後、「奈良ホテル」に到着しました。余談ですが、公爵は内気で人前に出るのが苦手な性格と評されていたらしく、滋賀県内の旅程を担当した当時の役人のメモには、写真を撮られるのが好きではないので不用意に撮影しないように、と記されています。松蔭に残る公爵の姿を伝える写真がさほど多くはない理由を垣間見た気がします。

神戸ではちょうど松蔭が現校地への移転と校舎建設をスタートさせるタイミングと重なり、英国国教会（聖公会）に連なる学校として、新校舎の定礎の式典に公爵を招待したのです。1929（昭和4）年5月21日、式典には夏服姿の全校生徒、卒業生と教職員も参列し、君が代斉唱、祈禱と答辞の後、英国国歌斉唱で締めくくられました。（「松蔭女子学院百年誌」）公爵は、神戸での旅程を終え、翌々日には早々と横浜港から帰国の途につきました。後に公爵は、英連邦オーストラリア総督などの要職を歴任しています。



<写真 左>新校舎の定礎の式典でのグロスター公爵（左端の軍服姿）。

中央に定礎石が見える。

<写真 中央>新校舎の柱に埋め込まれた定礎石。”STONE WAS LAID BY ROYAL HIGHNESS DUKE OF GLOUCESTER MAY. 21. 1929”の文字が見える。（「松蔭女子学院130周年記念誌」より）

<写真 右>PTA NEWS184号の表紙写真。1945年の神戸空襲で破損した定礎石と制服ベアー。

今年は何周年記念の年ということもあり、折に触れて学校の歴史について生徒に伝える機会を持つようになってきました。明治時代半ば、女子就学率が20～30%と低く女子への英語教育など求められていなかった時代、命懸けで日本にやってきた英国国教会の宣教師たちは「聖書」と「英語」を神戸の女子生徒に教え始めました。私学の存在価値は「建学の精神」に基づく特色ある教育だと言われますが、130年前に始まったある意味で「挑戦的」なこの事業は、松蔭の「建学の精神」の発露そのものであったと言えるでしょう。以来2万5千人（大学、短大を合わせて約5万人）にのぼる卒業生がこの学校で学んできました。

学校の在り方は、時代や社会状況に応じて変化し刷新されてきましたが、「英語の松蔭」を合言葉にする現在の松蔭にも「建学の精神」は息づき、生徒たちの心にも「連（つら）なる者」としての意識と誇りが育まれているように感じています。ニュージーランドの姉妹校セントピーターズ校をはじめ、国内外の聖公会（英国国教会）学校とも繋（つな）がっているという事実は、卒業後も母校のバックグラウンドのひとつとして意識しておいてほしいものです。

「あなたの御父様は、私の母校に来られたことがあります。」

英国在住の卒業生が上述のグロスター公爵のご子息と言葉を交わす機会があったそうです。「連なる者」がどこかで繋（つな）がる。私が奈良ホテルでグロスター公爵の足跡に巡り合ったことも日本語では「ご縁」と言うのでしょうか、神様がお導きくださった機会ととらえて喜ぶたいものです。年が明けると、高3松蔭生は「心のふるさと松蔭」を巣立ちます。一方で4月には新しい松蔭生を迎えます。少女たちは、140年そして150年への校史の1ページを刻んでいます。

「緊急連絡メール」 新システムへの変更(2023年度)について

保護者対象「緊急連絡メール」について、現行の「メルポコ」(NTTビジネスソリューションズ株式会社)から「ミマモルメ」(株式会社ミマモルメ)へ移行することになりました。新学年(2023年度)より移行しますが、今年度内に新システムへのご登録が必要です。今後、下記のスケジュールですすめる予定ですが、新たなお手続きとなり大変ご迷惑をおかけいたします。ご理解ならびにご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、高校3年生につきましては、今年度末まで「メルポコ」を運用しますので手続きは不要です。

○2022年12月22日(木)2学期終業式

「ミマモルメ」登録のための「説明プリント」「ID/パスワード」記載文書を学校でご息女(中1~高2)に配布します。

*冬休み終了(2023年1月9日)までに説明プリントの要領で「ミマモルメ」の登録をお願いします。

現行「メルポコ」で、登録についてお知らせする予定です。

*登録手続き上、お子様の学年および名前を株式会社ミマモルメに報告する必要がありますので、ご了解いただけますようお願いいたします。

*登録手続きやミマモルメの運用に関するご質問やご不明の点は、業者(株式会社ミマモルメ)がお受けいたします。システムの移行等につきましては、本校総務部(吉川教諭)までお願いします。

○2023年1月中旬

現行「メルポコ」により、新システム「ミマモルメ」のテストメール配信予定等についてお知らせします。

12月の行事予定

校内での主な行事予定です。生徒が参加する行事の詳細については、各学年からの連絡でご確認ください。

12月2日(金)期末考査

12月3日(土)高1期末考査(他学年自宅学習日) PTA 運営委員会 (午前)入試説明会(高校・中学課題図書)

12月7日(水)「松蔭 Winter English Camp」(中3~高2希望者)、高1関西大学ツアー(希望者)

12月8日(木)自宅学習日

12月9日(金)授業短縮期間(~12月5日)

12月12日(月)高1PTA集会(保護者懇親会) 高3学年集会⑤⑥(総合探求まとめ発表。同窓会トーマス会長講話)

12月13日(火)関西大学出張講義「マーケティングと女性の生活視点」(総合情報学部徳山美津恵教授)(希望者)

12月14日(水)PTA 広報委員会(第3回)

12月15日(木)中3プレ基礎学力判定試験①~⑥

12月16日(金)球技大会 中1・中2朝礼9時 中3・高1朝礼11時 高2・高3朝礼13:30

12月17日(土)自宅学習日(GS ミカエル国際学校連携授業あり) 小学生対象「クリスマスのつどい」

12月19日(月)20日(火)自宅学習日

12月21日(水)クリスマス礼拝 中学朝礼13時 高校朝礼14:30 *チャペルにて祝会(16時予定)

12月22日(木)大掃除・終業式 中学GS学期末プレゼン

12月23日(金)冬休み

1月10日(火)3学期始業式